

愛ほしき日本の歌

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第220回定期演奏会

The 220th Regular Concert



構成：原郷隆
演出：山崎千鶴子
舞台監督：中島隆

2017年3月2日[木] 午後7時開演(6時30分開場) 豊洲シビックセンターホール

主催／特定非営利活動法人日本音楽集団

助成／平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

後援／公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

■ 日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/ E-mail：office@promusica.or.jp



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan



Facebookファンページ
promusicanipponia

愛ほしき‘日本の歌’

我々がまだ言葉を持たなかった頃、

鳥の鳴き声、川のせせらぎ、風の音などをまねて気持ちを伝えていたという説を目にしたことがあります。それがやがて、それぞれの国の自然環境で発展し、多くの言語を生んだのだそうです。確かに日本の言葉は、日本の風土だから生まれた言葉なのかもしれません。そして人々は自分の想いを多くの人に伝えるため、その言葉をメロディーにのせました。‘歌’です。

1、新千鳥の曲(編曲：秋岸寛久 手付：尾崎太一)1994年

原曲は箏(本手と替手)と尺八の合奏曲で、器楽のみの部分をはさんで、前後に「千鳥」を詠んだ和歌を歌詞とした歌があり、箏奏者の弾き語りによって歌われます。今回はそれらに笛、三味線、琵琶、十七絃を加え、歌のメロディーも管楽器に移して、純器楽合奏曲にしました。更に能管、小鼓、大鼓、締太鼓の四拍子による囃子を挿入して全体に、変化と緊張を付与しています。

【第136回定期演奏会(日本初演時)プログラムより】

[笛]竹井誠
[尺八I]阪口夕山 [尺八II]原郷隆
[三味線]山崎千鶴子
[琵琶]久保田晶子
[箏I]熊沢栄利子 [箏II]佐藤里美
[十七絃]丸岡映美
[打楽器]尾崎太一 盧慶順 島村聖香

2、童謡・唱歌(編曲：高橋久美子)

明治、大正、昭和と歌い継がれてきた童謡・唱歌には日本の原風景が歌われています。

幻想的な風景を歌った「朧月夜」、今後も歌い継がれて欲しい名曲「おうち忘れて」、そして日本人なら誰もが知っている「赤とんぼ」。今回は多くの童謡・唱歌の中から抒情的な3曲を演奏します。

[歌]森山愛子(客演)
[笛]遠藤悠紀
[尺八]田野村聡
[三味線]二代目三山貢正
[琵琶]藤高理恵子
[二十絃]三宅礼子
[十七絃]丸岡映美
[打楽器]盧慶順

朧月夜

作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

菜の花畑に 入り日薄れ
見わたす山の端 霞ふかし
春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて 匂い淡し

里わの火影も 森の色も
田中の小径を たどる人も
蛙の鳴くねも 鐘の音も
さながら霞める 朧月夜

おうち忘れて

作詞：鹿島鳴秋 作曲：弘田龍太郎

お家(うち)忘れた 子ひばりは
広い畑の 麦の中
母さんたずねて ないけれど
風に穂麦(ほむぎ)が 鳴(な)るばかり

お家忘れた まよいごの
ひばりはひとり 麦の中
お山の狐(きつね)は なかぬけど
暮れてさみしい 月あかり

赤とんぼ

作詞：三木露風 作曲：山田耕筰

夕焼け小焼けの 赤とんぼ
負われて見たのは いつの日か

山の畑の 桑の実を
小かごに摘んだは まぼろしか

十五でねえやは 嫁に行き
お里の便りも 絶え果てた

夕焼け小焼けの 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

森山愛子
(客演)



栃木県宇都宮市出身 ※現とちぎ未来大使

■略歴

平成16年5月19日東芝EMI(現ユニバーサルミュージック)よりアントニオ猪木さんの命名による「闘魂の歌姫」として「おんな節」でデビュー。

第37回日本作詞大賞に「おんな節」入賞

第37回日本有線大賞・第46回日本レコード大賞双方で新人賞を受賞

平成17年 TBS系列「王様のブランチ」にリポーターとしてレギュラー出演開始。(2012年3月レギュラー終了)この番組への出演を機に活動の幅を広げていく

平成21年 第41回日本作詞大賞に「恋酒」が入賞

平成22年 とちぎ未来大使に任命

平成24年 「約束」がレコチョクの演歌・歌謡曲チャートにて1位になる。

平成25年 草月ホールにて「デビュー 10周年闘魂の歌姫 森山愛子『約束』ヒット感謝祭コンサート」開催

本日お聴きいただく「日本の歌」の数々には、その時代を生きた人たちの想いが詰まっています。日本でしか生まれ得なかった言葉、旋律。それを奏でるのは今日まで日本で大切にされてきた楽器たちです。客演にはやはり和の世界である演歌界から森山愛子さんをお招きしました。

「愛ほしき「日本の歌」」このタイトルにたくさんの気持ちを詰め込みました。今宵、みなさまに我々日本音楽集団の想いが届きますように。

3、昭和歌謡の世界(編曲：福嶋頼秀)

蘇州夜曲 作詞：西條八十 作曲：服部良一

李香蘭(山口淑子)主演の映画「支那の夜」(昭和15年)の劇中歌として発表されました。その後も多くのアーティストにカバーされている昭和歌謡の名曲です。

運河が多く、水の都と呼ばれる蘇州の景色、若い二人の恋のゆくえ、そんなことに想いを馳せるのも良いかもしれません。

ヨイトマケの唄 作詞、作曲：美輪明宏

『ヨイトマケの唄』は美輪明宏氏が作詞・作曲し、昭和40年にレコード発売となったヒット曲。ドラマ性／メッセージ性の高い佳曲で、平成10年前後から桑田佳祐・槇原敬之ら様々な歌手によりカバーされています。

日雇い労働者として家族のために働く母親の姿を描いた歌詞は、美輪氏の友人のエピソードによるそうです。その1番から6番までのドラマチックな展開を、美しい歌と4つの和楽器が、互いに呼応しながら描いてゆきます。

[歌] 森山愛子(客演)

[尺八] 原郷隆

[三味線](細棒・太棒) 山崎千鶴子

[二十絃・箏・十七絃] 桜井智永

[打楽器] 多田恵子

4、わらべうたラブソディー(作曲：秋岸寛久 委嘱初演)

「ひらいたひらいた」「かごめかごめ」「うさぎうさぎ」「ほたるこい」「ずいずいずっころばし」など、全国的に知られていると思われるわらべうたのモチーフを使って、構成しました。原曲が判別できないほど加工しても元の雰囲気が残っているのは、シンプルなメロディーならではの力強さなのでしょう。わらべうたの世界と程よい距離を保ちつつ、おおいに遊ばせていただきました。お楽しみください。(秋岸寛久)

[笛] あかる潤 新保有生

[尺八I] 米澤浩 渡辺淳

[尺八II] 元永拓 阪口夕山

[三味線] 杵家七三 長井麻江

[琵琶] 久保田晶子 藤高理恵子

[箏I] 熊沢栄利子 石井香奈

[箏II] 桜井智永 三宅礼子

[十七絃] 久本桂子 岡山亮子

[打楽器] 尾崎太一 島村聖香

[指揮] 稲田康



[作曲家]

秋岸寛久

横浜生まれ。東京音楽大学作曲科卒。助川敏弥、浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。同大学研究科を修了後、日本音楽集団に入団。邦楽器のための作品も数多い。日本フィル九州公演、横浜国大グリークラブ、NHK邦楽技能者育成会、オーストラリア、シュライニング音楽祭、オーケストラ・アジア等からの委嘱や、市川猿之助スーパー歌舞伎「オオクニヌシ」の音楽、NHK伝統和楽団の編曲等を手がける。



日本音楽集団

1964年創立。伝統的な日本の楽器である、箏・尺八・三味線・琵琶・胡弓・笛、小鼓・太鼓などの打楽器、笙・箏などの雅楽器による和楽器オーケストラです。和楽器数十名と指揮者による大合奏は迫力満点です。

現在では、定期演奏会を中心に、全国各地での公演、教育機関での音楽鑑賞会、録音・放送・映画・演劇などさまざまな分野で演奏活動を行っています。

海外では、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、中国、東南アジア、オーストラリア等、31カ国151都市で公演を実施。アイザック・スターン、ヨー・ヨー・マヤ、ゲヴァントハウス・オーケストラ、ニューヨークフィルとの共演を実現、海外でも高い評価を得ています。

文化庁芸術祭大賞、第2回音楽之友社賞、レミー・マタン音楽賞、モービル音楽賞など、受賞履歴多数。

【正会員】 (団員) (楽器別・五十音順)

笛
 あか 潤
 遠藤 悠紀
 新保 有生
 竹井 誠 (尺八)
 西川 浩平

笙
 三浦 はな

箏
 西原 祐二
 三浦 元則

尺八
 大賀 悠司
 阪口 夕山
 阪野 村聡
 原郷 隆
 藤崎 重康 (笛)

三橋 貴風
 宮田 耕八朗
 元永 拓浩
 米澤 浩淳
 渡辺 淳

三味線
 杵家 七三
 長井 麻江
 三山 貢正
 三積 大志
 三田 弘大
 三田 司郎
 三田 伊子
 三田 千鶴子

琵琶
 久保田 晶子
 首藤 久美子

田原 順子
 藤高 理恵子

箏
 石井 香奈子
 伊藤 麻衣子
 岡山 亮子
 久東 寿子
 熊沢 栄利子
 桜井 智永
 佐藤 里美
 島崎 春美 ※
 城ヶ崎 美保
 彦坂 恵美子
 久本 桂子
 丸岡 映美子
 三宅 礼子
 山田 明子
 渡辺 正子

打楽器
 臼杵 美智代
 尾崎 太一
 島村 聖香
 仙堂 新太郎
 多田 恵子
 山内 利一
 盧 慶順

指揮
 稲田 康
 田村 拓男
 苫米地 英一

作曲
 秋岸 寛久
 川崎 絵都夫 ※
 篠田 大介
 高橋 久美子
 福嶋 頼秀

楽器・舞台
 中島 隆

名誉代表
 田村 拓男

代表
 尾崎 太一

副代表
 米澤 浩

運営委員
 田野 村聡
 原郷 隆
 久本 桂子
 三積 大志
 元永 拓
 山崎 千鶴子

監事
 田村 拓男
 三田村 典昭

アートマネージメント
 大西 愛子 ※

事務局
 中山 美穂子

永久名誉団員
 長澤 勝俊

2017年2月現在、※は休団中

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】 (口数・五十音順)

[法人会員]
 青和観光株式会社 代表取締役 青木 茂
 日凸運送株式会社
 (有)邦楽ジャーナル 代表取締役 田中 隆文
 株式会社青和運輸
 神戸レコードクラブ/宅音便(有限会社 文)

[個人会員]
 山本 福八
 *
 池田 紫真榮
 江西 縁
 柿崎 やよい

金子 宜弘
 小池 節子
 佐藤 裕美
 佐藤 玲子
 添川 浩史

辻 淑子
 東谷 仁
 友杉 毅
 富山 優子
 堀 保之

三宅 一徳
 元永 明希
 元永 美代子
 森 繁美
 森 博明

山本 友英

 その他4名
 (2017年2月現在)



株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15

TEL03(3792) 8481 FAX03(3792) 8437 URL: <http://kinko-do.com> E-mail: tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033

ホームページ <http://www.promusica.or.jp> E-Mail office@promusica.or.jp

デザイン: 佐々木達彦 イラストレーション: 森口裕二